

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：稗原デイサービスセンターやまゆり

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）
通所介護

日時：令和7年3月18日（火） 13時30分 ～14時30分

会場：稗原コミュニティーセンター

出席者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	3人
利用者家族	1人	高齢者あんしん支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他（理事長、施設長、課長、管理者）			3人

（議題）

- 1、施設長挨拶
- 2、利用状況、近況報告、その他連絡事項
- 3、意見交換
- 4、その他

議題2 利用状況及び近況報告

□利用者状況 登録人数 24名

介護度	要介護5	(男性0名、女性0名)
	要介護4	(男性0名、女性2名)
	要介護3	(男性2名、女性1名)
	要介護2	(男性2名、女性5名)
	要介護1	(男性0名、女性9名)
	要支援2	(男性1名、女性0名)
	要支援1	(男性0名、女性2名)
	事業対象者	(男性0名、女性0名)

□近況報告

10月 キラウ多岐外出

JA 女性部 JA出雲やすらぎ会稗原支部 タオルの寄贈

避難訓練

やまゆり秋祭り

11月 チームブラボー演奏会

12月 クリスマス会

2月 節分

日頃の食事内容の紹介

議題 3 意見交換

有識者：

稗原デイの食事は事業所の売りの一つと言われるだけあって、食事の写真を見ると同じメニューは無くバラエティーに富んでいてとても美味しそう

- ▶ 厨房職員が買い出しから献立、調理をしている。バランスの良い献立を一生懸命考えて下さっているおかげ。

有識者：

利用者は稗原町以外ではどこから来ておられるか

- ▶ 所原、古志、塩冶、姫原、荻茅の6名の方に利用して頂いている。

有識者：

10名の定員でどの曜日もいっぱいだが定員を増やす予定はないか

- ▶ 稗原デイサービスセンターやまゆりを選んで頂いているおかげで現在は定員いっぱいになっている。開所当初から登録者数を増やす事にとっても苦労してきたが委員の皆様や稗原地区の皆様にご協力頂き感謝をしている。定員が11名以上になると職員の配置基準も変わってくるため、現在の職員体制では定員を増やす事が出来ない現状がある。職員体制が整えば13名程度に一日の利用人数を増やすことも検討している。

有識者：

外出時転倒のないよう配慮しているとの事だが、事業所内での転倒事例等はないか、また転倒があった時にどういった対応をされているか

- ▶ 外出時には転倒なく外出が出来ている。事業所内では今年度の転倒が2件発生している。痛みや身体状況の確認を行い、緊急を要するものでなければ、ご家族、連携機関へ連絡し様子観察をしている。緊急を要するものであれば救急搬送する。

有識者：インフルエンザなど流行状況はどうなっているか

- ▶ インフルエンザ、コロナ感染症ともに事業所内での感染はなし。同居家族がコロナ感染症に罹患された事例があり、法人規定により自宅待機して頂いた利用者が2名いた。

利用者家族：

デイサービスに出掛けていると、連絡ノートに表情良く過ごしていると記載があり安心している。しっかり関わって下さっている事が分かる。自宅ではなかなかゆっくり寄り添えないので本当に感謝している。資料の写真を見ても本当にいい顔をしていると思う。

▶定員が 10 名のデイサービスのため、利用者に関する時間を 1 番大切にしている。一人一人としっかりコミュニケーションを取りながら対応をしている。

利用者家族：

先日、熱発があった時に事業所から電話があったが、たまたま出れなくてすぐに折り返したが今度はずっと話し中になっていた。連絡先の優先順位順にかけておられたと思うが回線を増やすとか検討してもらえたら嬉しい。熱発等の急変時、災害時等連絡方法を検討してほしい。LINE があると既読がつく為安心する。

▶LINE はそれぞれの事業所で既に登録をしておき事業所間でのオンライン中継などに利用している。ご家族の皆様との連絡体制について運用までには至っていない。法人のグループホームでは実際にご家族と LINE でやりとりをしている為、通所も検討していく。

有識者：

独居の利用者がいるか、積雪の際は雪かきなどをどうしているか

▶独居の利用者は 2 名。どちらも ADL は自立の方。家の前など雪かきは自分でされているので、送迎時に関しては今の所問題がない。新規の契約の際、積雪時の除雪のお願いを必ずしている。迎えに行き、危険と判断した時には利用をお断りする事を伝えているが、これまではそのような事例はない。

有識者：

食事の一覧を見ていたら、フレイルにならないと思う。とても美味しそうで完食されるのが分かる

▶フレイル予防の 3 本柱である「栄養」「運動」「社会参加」についてデイサービスをご利用して頂く利用者に少しでも効果があるようにと思っている。

利用者家族：

応援に来る職員の送迎に関して家などどのようにしておられるか

▶事前に自宅の場所やルートの確認を 2 人で実際に自宅まで行って確認をしている。

地域住民代表：

自然災害時にはどうするか

▶デイサービスでは安全に送迎が出来るように早めに検討する。送迎が困難な場合は市森集会所へ避難するようにしている。特に水害の場合はコミセンへの避難は川を渡るのでリスクが大きい。

出雲市：

介護の人員不足について、外国人労働雇用についてどうなっているか

- ▶通所 2 名、生活支援ハウス 1 名、特養 5 名の計 8 名が働いている。
今後も外国籍人材の受け入れを検討していく。

有識者：

外国籍の職員は高齢者とのコミュニケーションをとるのに支障はないか

- ▶会話はどの職員もある程度コミュニケーションがとれている。必要時には他の職員が間に入ってサポートしている。日本語を書く事は難しくローマ字で記入している職員もいる。スマホの翻訳機能を利用して記録や会議録などを見ている。

有識者：

施設内での虐待、ハラスメントの研修はどうしているか。若者の虐待のニュースなど良く聞くが研修、教育を徹底してほしい

- ▶在宅課は年に 1 回研修を必ず行っている。また今年度から虐待防止委員会を立ち上げ、定期的を開催し各事業所から聞き取りや報告、情報共有を等行っている。法人としては虐待に繋がらないように職員の労働環境に配慮を付けている。

以上